

各位

会社名 株式会社UACJ

代表者名 代表取締役 社長執行役員 田中 信二
(コード番号 5741 東証プライム)

問合せ先 財務本部 経理部長 永田 智洋
(TEL 03-6202-2600 (代))

(訂正) 「2024年度決算説明会資料」の一部訂正についてのお知らせ

2025年5月13日に公表いたしました「2024年度決算説明会資料」の記載内容に一部訂正すべき事項がございましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

「2024年度決算説明会資料」の公表後、記載内容の一部に誤りがあることが判明したため、訂正を行うものであります。

2. 訂正内容

① 8ページ

グラフ「連結キャッシュフロー推移」中の2023年度実績値

(訂正前)

営業CF「246」

投資CF 「 $\Delta 192$ 」

FCF 「54」

(訂正後)

營業CF「949」

投資CF 「 $\Delta 362$ 」

FCF 「587」

(訂正前…赤枠部分)

1. 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度末D/Eレシオ 目標の1.0倍を維持

2024年度 連結キャッシュフロー		連結キャッシュフローの推移		有利子負債増高D/Eレシオ	
項目	2024年度	項目	2024年度	有利子負債増高	D/Eレシオ(右軸)
税金引当料	430	営業CF	245	3,109	1.0
繰延税金費	361	投資CF	91	3,209	1.0
増減価償却諸税	△721	売却CF	△369	3,264	1.0
営業キャッシュフロー計	91	FCF	△278	3,570	1.1
設備投資 他	△369			3,407	1.0
フリーキャッシュフロー	△278				
ファイナンス(リース・配当)他	△147				
関係会社増(△は増加)	139				
外資で個人生体譲渡(△は増加)	△13				
有利子負債△(△は増加)	△299				

2023年度 2024年度

2020年度末 2021年度末 2022年度末 2023年度末 2024年度末

・D/Eレシオは連結キャッシュ・フロー計算書による

(訂正後…赤枠部分)

1. 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度末D/Eレシオ 目標の1.0倍を維持

2024年度 連結キャッシュフロー

項目(億円)	金額(億円)
営業利益	430
減価償却費	381
増減価償却減価	-721
営業キャッシュフロー	91
設備投資	-360
フリーキャッシュフロー	-278
ファイナンス収入・配当	-147
繰上償還金(△は増加)	139
外貨建て借入(△は増加)	-113
有利子負債△(△は増加)	-239

連結キャッシュフローの概要

項目	2023年度	2024年度
営業CF	949	91
自由CF	367	278
金融CF	362	239

有利子負債残高 D/Eレシオ

有利子負債残高(億円)	D/Eレシオ
2023年度末	1.0
2024年度末	0.9
2025年度末(目標)	1.0

② 30ページ

表「UATH」中の2025年度通期予測販売量

(訂正前) 331

(訂正後) 336

以上



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 決算説明会資料

2025年5月13日
株式会社UACJ



発表のポイント

- 2024年度の事業利益*は459億円（前期比 +25億円）
- 2025年度の事業利益予想は460億円（前期比 +1億円）

1

■ 2024年度実績 事業利益 459億円（前期比 +25億円）

- ✓ 国内：上期における缶材、厚板等の販売が順調に進捗し、収益を確保
- ✓ 海外：北米を中心に、グローバルにおいて継続する好調な缶材需要を捕捉

2

■ 2025年度業績予想 事業利益 460億円（前期比 +1億円）

- ✓ 世界経済に先行きの不透明感はあるも、米国缶材市場の急激な変化はないと想定
- ✓ 米国関税政策はリスクとして認識するも、現状、業績への直接的な影響は限定的なため未織り込み
- ✓ 年間配当金は、10円増配の160円/株（配当性向36.2%）を予定

- 1. 2024年度 業績**
- 2. 2025年度 業績予想**
- 3. 企業価値の向上に向けた取り組み**
- 4. ご参考**

1. 2024年度 業績



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

1. 業績

2024年度 業績

(単位: 億円)

	2023年度 (A)	2024年度 (B)	増 減 (B) - (A)
売上収益	8,928	9,988	1,060
事業利益	434	459	25
棚卸資産影響等	△120	115	235
営業利益	314	574	260
親会社の所有者に帰属する当期利益	139	280	141
1株あたり当期利益 (円 / 株)	287	585	298
Adjusted EBITDA*	798	840	42
前提条件			
LME (\$/t)	2,202	2,526	324
為替レート(円 / \$)	145	153	8
為替レート(THB/\$)	35.2	34.9	△ 0.3
ドバイ原油 (\$/B)	82	78	△ 4

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

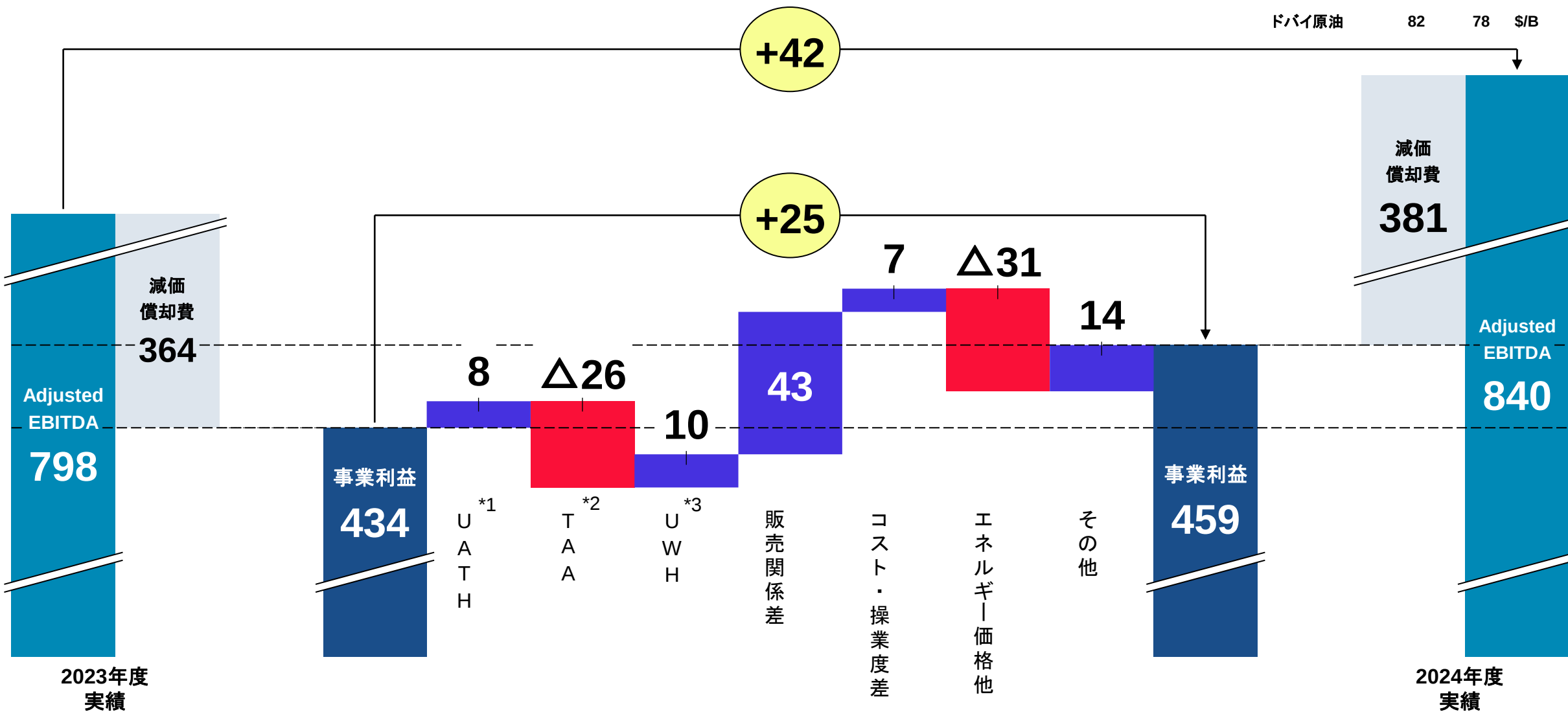
品種	2023年度 (A)	2024年度 (B)	増減 (B)-(A)
缶材 [*]	791	851	60
箔地	45	42	△ 3
IT材	8	10	2
自動車材	142	134	△ 8
厚板	34	42	8
その他一般材	175	187	12
合計	1,195	1,266	71
日本市場	475	489	14
海外市場	720	777	57

^{*} 内部取引控除後の数量

1. 業績

事業利益・Adjusted EBITDA 分析（2023年度 → 2024年度）

通期前提条件 (FY23 → FY24)			
LME	2,202	2,526	\$/t
為替レート	145	153	円/\$
	35.2	34.9	THB/\$
ドバイ原油	82	78	\$/B



*1 UATH
*2 TAA
*3 UWH

UACJ (Thailand) Co., Ltd.
Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.
UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

1. 業績

連結財政状態計算書

棚卸資産の増加により、運転資金が増加

連結財政状態計算書			
(単位: 億円)	24/3末 (A)	25/3末 (B)	増減額 (B－A)
現金及び現金同等	402	263	△139
営業債権及びその他の債権	1,797	1,873	77
棚卸資産	1,879	2,441	562
その他の流動資産	234	218	△17
有形固定資産	3,852	3,943	92
その他の非流動資産	981	961	△19
資産合計	9,144	9,700	556
営業債務及びその他の債務	1,417	1,406	△10
借入金	3,109	3,407	299
その他	1,599	1,691	92
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,770	2,906	136
非支配持分	250	290	40
負債及び資本合計	9,144	9,700	556

資金運用表				
	使 途		調 達	
長期 資金	設備投資等	369	税引前利益	430
	法人税等支払	68	減価償却費	381
	配当金支払	61		
	長期資金余剰	314		
短期 資金	棚卸資産の増加	552		
	債権債務増減他	39		
			短期資金不足	591

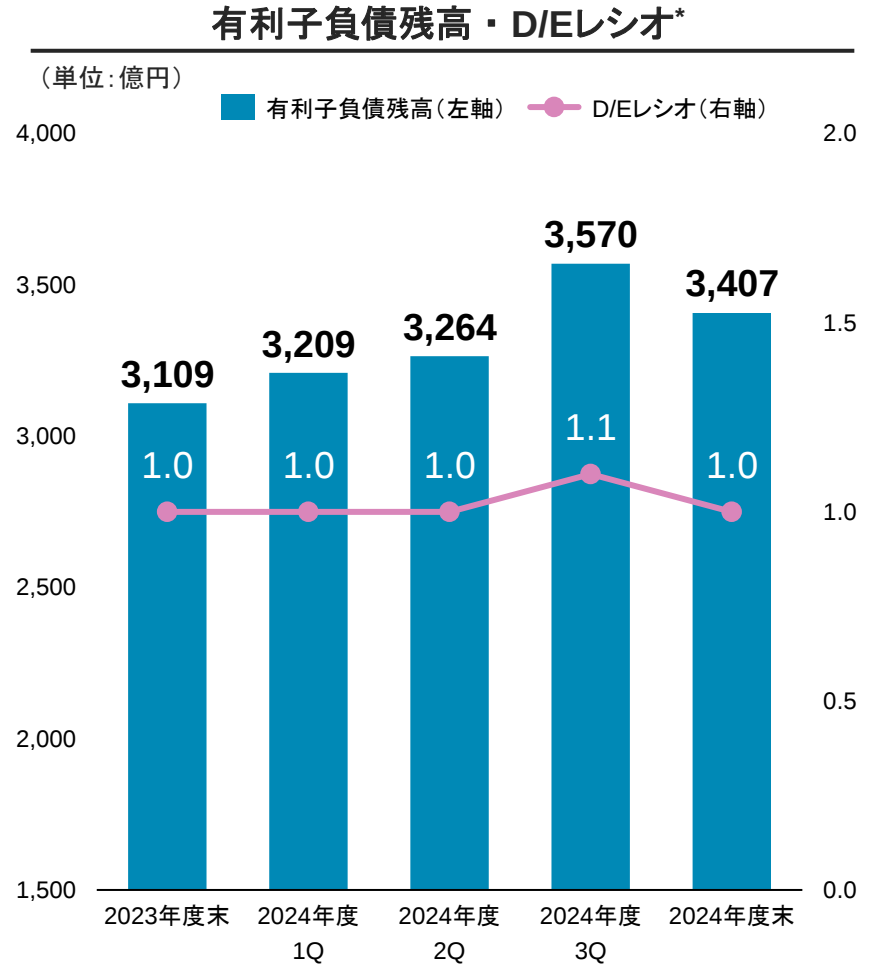
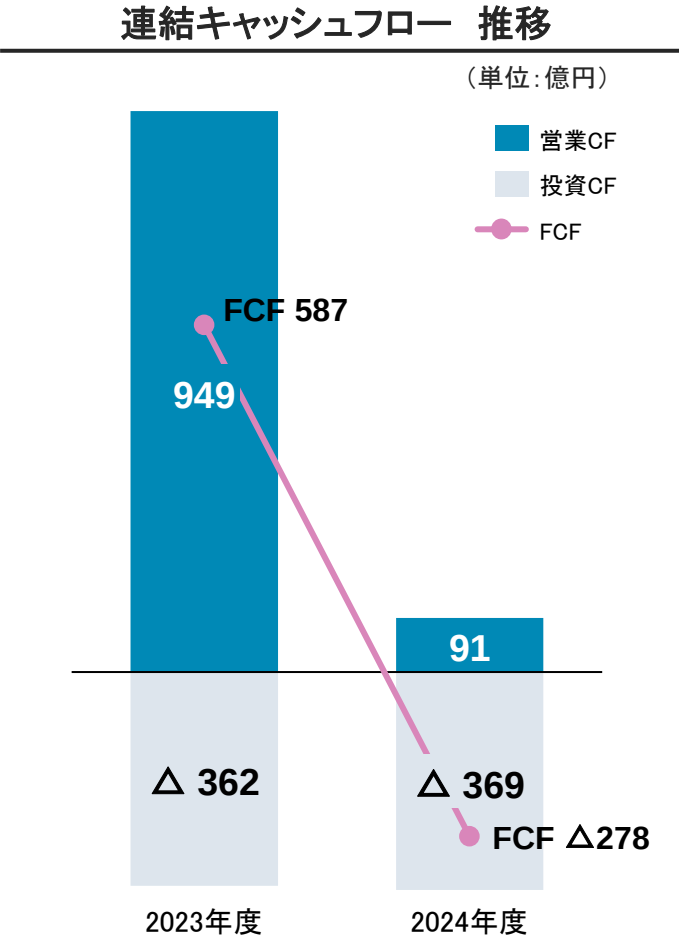
長期資金	314 億円
短期資金	△591 億円
合計	△278 億円

1. 業績

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度末D/Eレシオ 目標の1.0倍を維持

2024年度 連結キャッシュフロー	
(単位: 億円)	
税引前利益	430
減価償却費	381
債権債務増減他	△721
営業キャッシュフロー計	91
設備投資 他	△369
フリーキャッシュフロー	△278
ファイナンススキーム・配当他	△147
現預金増減(△は増加)	139
外貨建て借入金換算差(△は増加)	△13
有利子負債(△は増加)	△299



* D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

1. 業績

タイ(UATH)の状況

グローバルでの缶材需要を確実に取り込んで販売数量を拡大し、増収増益

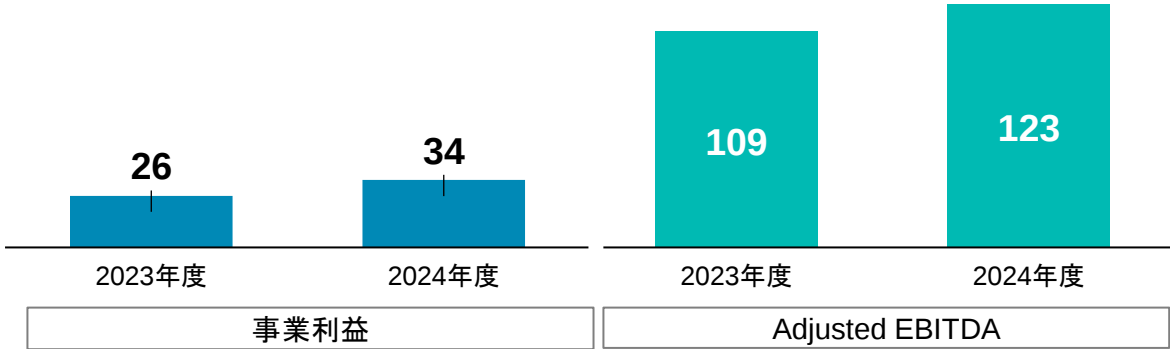
総括

- 需要 : グローバルでの缶材の需要は順調に推移
- 販売 : **【北米向け】**
缶材需要回復に応じ、製品の出荷を継続
【ASEAN・その他地域】
- ・ 新規顧客の開拓を進め、販売展開エリアを拡大
 - ・ 12月からの中国増値税還付の廃止により、引き合いが増加
- 損益 : ・ 為替環境の変動や原材料の高騰があるも、販売数量が拡大し、収益を確保

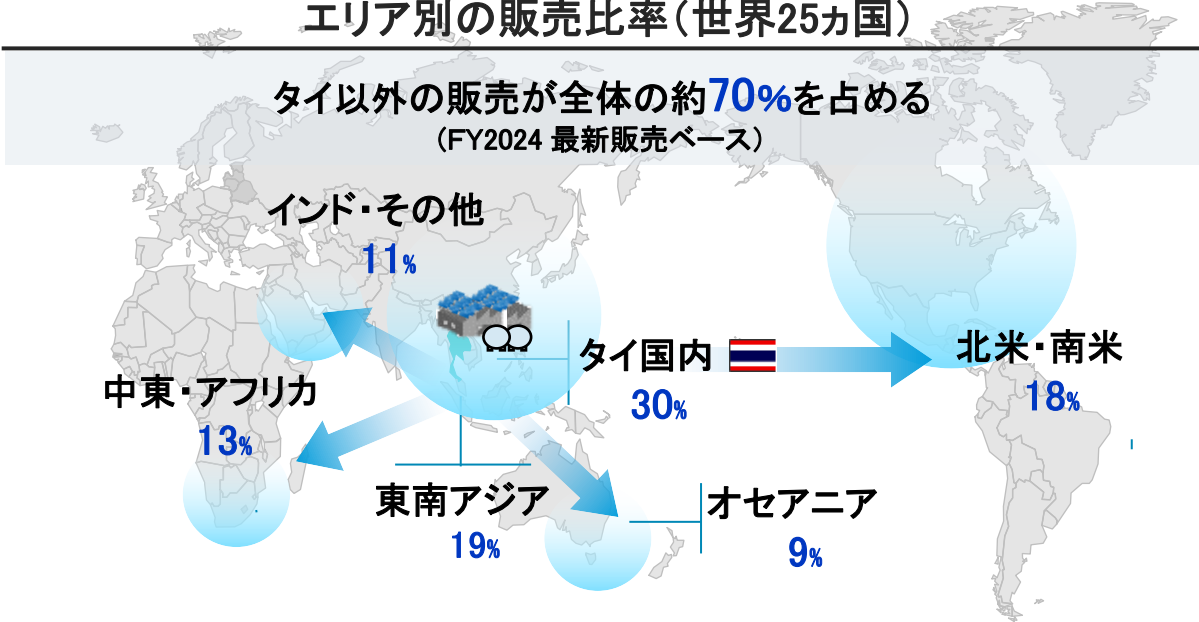
(単位: 億円)	23年度	24年度	前期比
販売数量(千t)*	256	306	50
売上収益	1,426	2,014	589
営業利益	5	54	49
事業利益	26	34	8

*TAAへの出荷分含む
© UACJ Corporation. All rights reserved. ※2023年度からの業績推移はP30をご参照ください。

事業利益・Adjusted EBITDA推移(億円)



エリア別の販売比率(世界25カ国)



1. 業績

米国(TAA)の状況

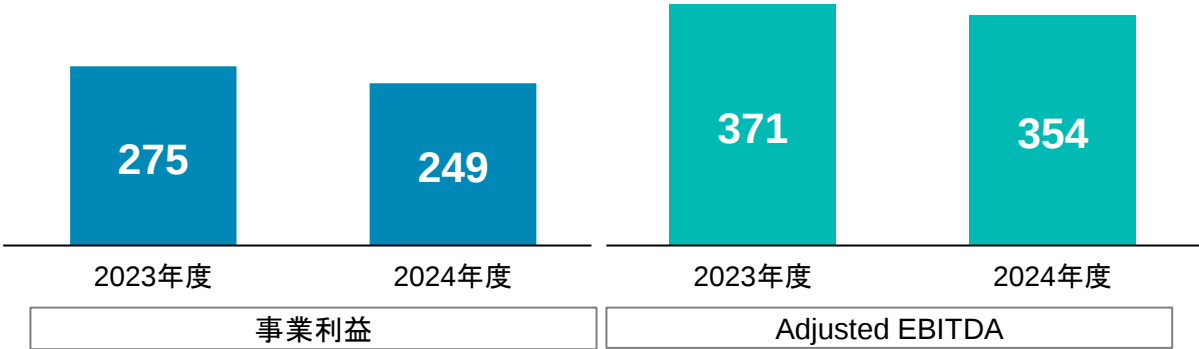
堅調な缶材需要を取り込み増収も、コスト増により減益

総括

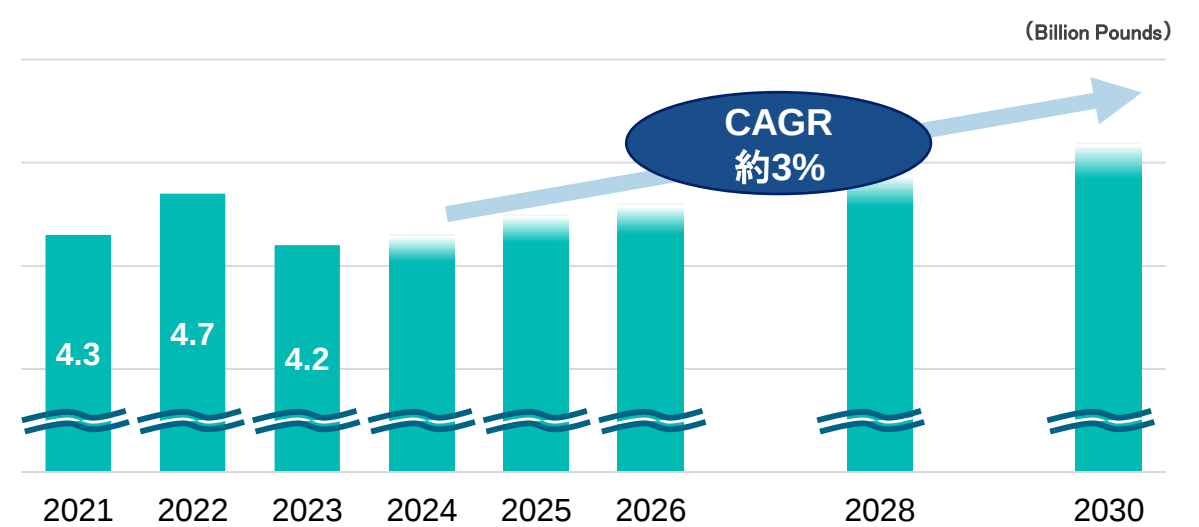
- 需要 : ・ 北米の缶材需要の拡大傾向は変わらない
- 生産 : ・ 高水準での生産が継続
・ 設備増強投資は順調に進捗
- 販売 : ・ 販売の好調が継続
・ 北米缶材の一部で2025年度に販売時期が変更

(単位: 億円)	23年度	24年度	前期比
販売数量(千t)	433	449	16
売上収益	2,536	2,917	381
営業利益	200	328	128
事業利益	275	249	△ 26

事業利益・Adjusted EBITDA推移(億円)



米国缶材需要の推移



1. 業績

米国(UWH)の状況

EV市場の伸び悩みにより販売量は減少も、コストダウン施策が通期で奏効して増益

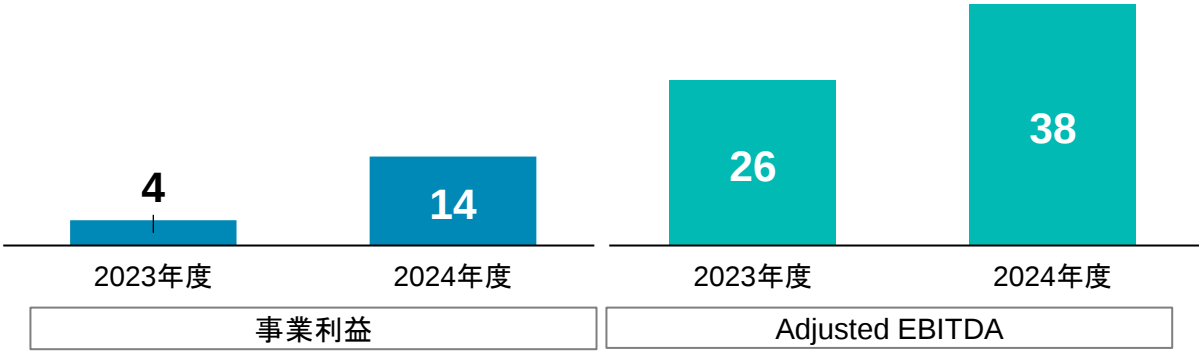
総括

- 事業環境
- 環境規制等により、車体の軽量化ニーズは強まる
 - 自動車市場全体の中長期的な成長には変化はないと見通す
 - EV市場は足元で伸び悩むも、HV/ICE市場の伸長は続く
- 販売
- 日系OEMへの安定的な販売が継続
 - 車体軽量化等の需要を取り込み、新規案件取得に向けて活動
- 損益
- EV向けの販売量が減少
 - 2023年度下期からのコストダウン施策の徹底を継続

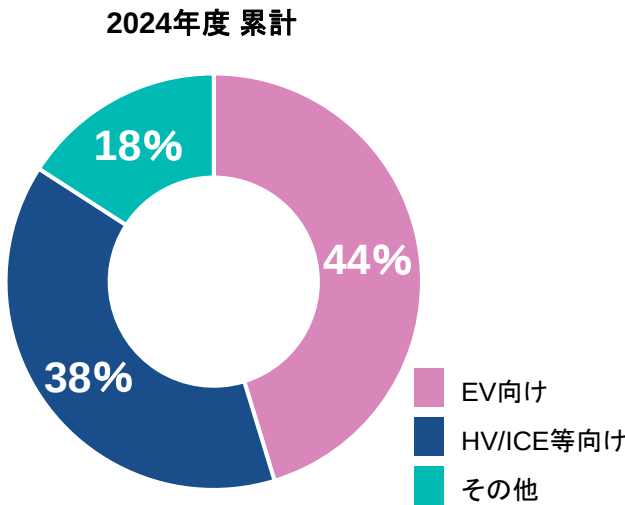
(単位: 億円)	23年度	24年度	前期比
売上収益	417	375	△ 42
営業利益	11	9	△ 2
事業利益	4	14	10

※2023年度からの業績推移はP30をご参照ください。

事業利益・Adjusted EBITDA推移(億円)



売上構成比



FY25以降のアクション

- 米国の関税政策を背景とし顧客からの引き合いが増加
- 将来モデルの受注を見据え、開発プロセスからの取り組みに注力
- 米国の環境政策の動向を注視 (EV補助金等)

2. 2025年度 業績予想



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

2025年度 業績予想のポイント

グローバルでの外部環境変化に対応し、さらなる成長を目指す

2025年度の外部環境認識

- ✓ アルミニウム市場の規模は引き続き拡大を見通す
- ✓ 米国関税政策の影響による先行き不透明な世界経済
- ✓ 原材料価格が高値圏で推移
- ✓ 人件費・物価上昇
- ✓ 中国における輸出増値税の還付制度廃止

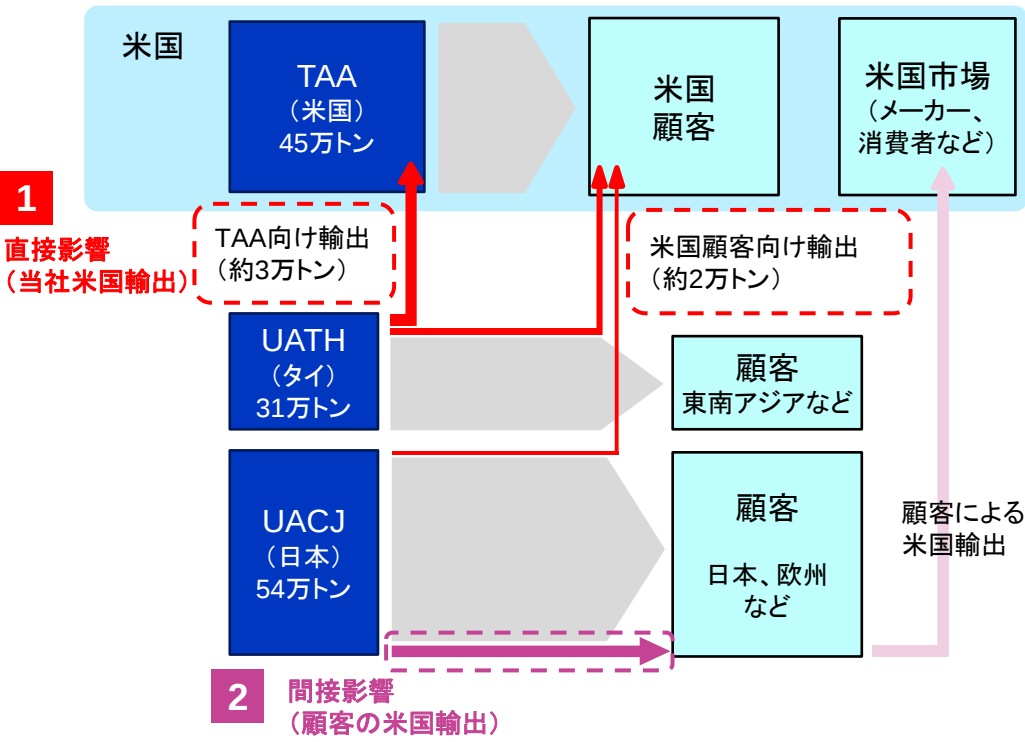
2025年度の方針性

- ✓ 伸長する缶材需要に対し、日・米・タイで増産体制を整える
- ✓ 米国関税政策から受ける影響は限定的であり、米国缶材市場の急激な変化はないと想定
- ✓ 原材料価格の上昇を業績予想に織り込む
- ✓ 販売価格改定効果を一部織り込む

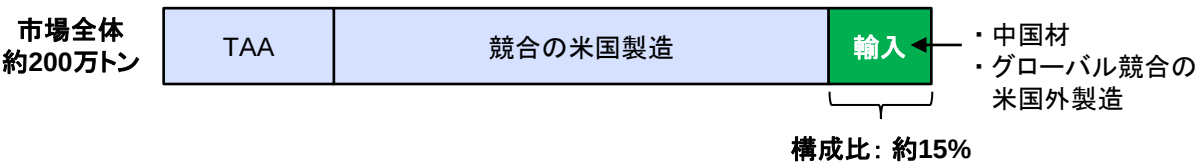
アルミニウム製品を取り巻く米国追加関税とその影響

現段階では、グループ全体で大きな影響はないものと想定しているが、引き続き関税の動向を注視する

■ 板事業の販売構成 ※数値は2024年度販売数量



■ 米国缶材市場の構成（2024年） ※UACJ推定



■ UACJグループへの影響

分野	UACJグループへの主な影響
1 直接影響	
缶材	● 25年は契約済みの販売量に大きな変動はない見込み ● 26年以降は、追加関税・適用除外制度の廃止を受け、タイからの販売が減少する可能性
自動車関連材	● 米国内競合の工場閉鎖を受け、日本・タイから輸出する自動車関連材の販売が増加する可能性
2 間接影響	
自動車関連材	● 日本、またメキシコ等から米国への輸出台数の減少により、自動車関連材の販売が減少する可能性
日本の顧客が米国へ輸出するアルミニウム部品	米国内に代替供給先がない製品が多いため、販売が短期間で減少する恐れは低い
■ 米国拠点（TAA、UWH）への影響	
缶材	● 米国製缶メーカーの地産地消傾向がさらに強まり、TAAは取引量が増加
自動車関連材	● 米国OEMの米国製部品への切り替えにより、UWHへの部品引き合いが増加する可能性
原材料	● 新地金価格（MWP*）は上昇 ● スクラップ価格は今後の動向を注視

緑色：ポジティブ影響
黄色：ネガティブ影響

*MWP ミッド・ウエスト・プレミアム

2025年度 通期業績見通し

(単位: 億円)

		2024年度実績 (A)	2025年度見通し (B)	差異 (B)－(A)
売上収益		9,988	10,400	412
事業利益		459	460	1
棚卸資産影響等		115	△ 10	△ 125
営業利益		572	450	△ 122
親会社の所有者に帰属する当期利益		280	200	△ 80
1株あたり当期利益(円/株)		585	442	△ 143
Adjusted EBITDA		840	855	15
年間配当		150円/株	160円/株	10円/株
前提条件	LME(\$/t)	2,526	2,500	△ 26
	為替レート(円/\$)	153	145	△ 8
	為替レート(THB/\$)	34.9	34.5	△ 0.4
	ドバイ原油(\$/B)	78	80	2

アルミ板 品種別売上数量

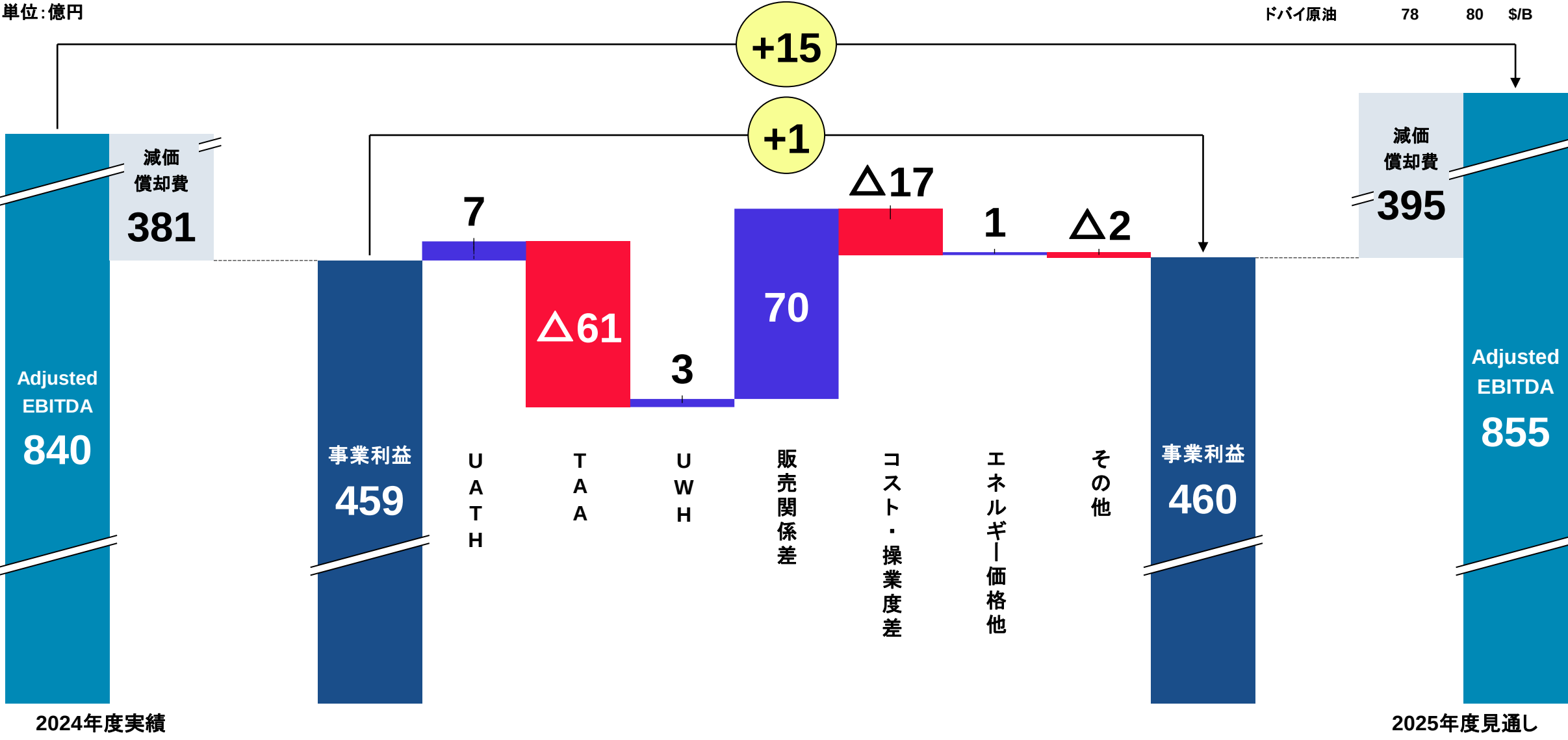
(単位:千トン)

品種	2024年度実績 (A)	2025年度見通し (B)	差異 (B)-(A)
缶材*	851	928	77
箔地	42	42	0
IT材	10	11	1
自動車材	134	136	2
厚板	42	47	5
その他一般材	187	187	0
合計	1,266	1,351	85
日本市場	489	490	1
海外市場	777	861	84

事業利益分析（2024年度 → 2025年度）

通期前提条件 (FY24 → FY25)			
LME	2,526	2,500	\$/t
為替レート	153	145	円/\$
	34.9	34.5	THB/\$
ドバイ原油	78	80	\$/B

単位: 億円



設備投資・減価償却費

2025年度は中計期間中で計画する設備投資を前倒して実施予定

		2024年度 実績	2025年度 見通し	2024～27年度 計画
(単位:億円)				
設備投資	一般投資	188	223	820
	戦略投資	231	322	780
	合計	419	545	1,600
減価償却費		381	395	1,600

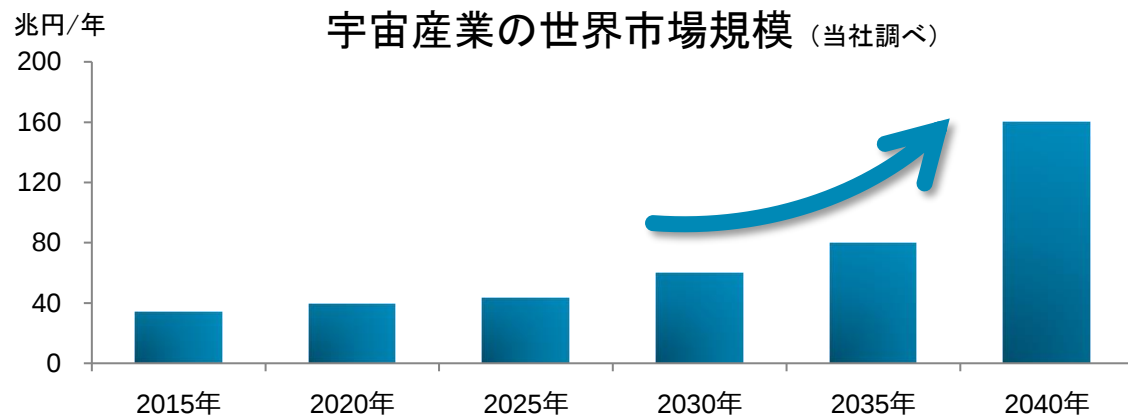
戦略投資：先端分野のサプライチェーン安定化への貢献のために

航空宇宙・防衛、半導体製造装置向け厚板焼入れ材生産能力を倍増

深谷製造所へ厚板焼入れ材製造設備を導入

- ✓ 日本最大規模・高効率な設備で、より高品質な製品分野へ
- ✓ 厚板専門工場としての総合力を向上
- ✓ 海外材からの切り替えを目指し、拡販へ

投資総額	約110億円
稼働開始	2027年度下期
生産能力	年間約10,000トン
需要分野	航空機材、宇宙関連材、 防衛装備品、半導体製造装置



深谷製造所全景

年間配当金は、160円/株を計画

第4次中期経営計画期間 還元方針

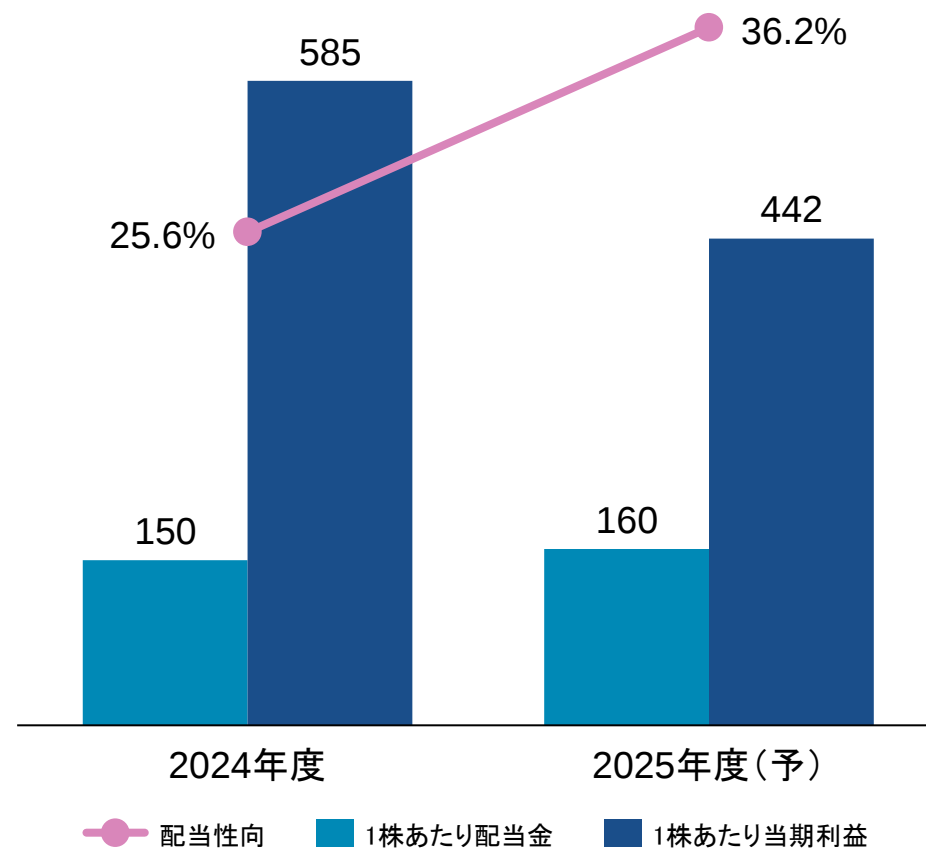
安定的かつ継続的な配当を目指す

⇒第4次中期経営計画(24~27年度)期間中の
配当性向は最終利益*の30%以上が目途

株主還元の実施および実施見通し

	2024年度	2025年度
最終利益	280億円	200億円
年間配当	150円/株	160円/株
配当性向	25.6%	36.2%
自己株式取得	(2025年2月) 300万株 / 151億円	

1株あたり配当金(円)/1株あたり当期利益(円)/配当性向(%)



3. 企業価値の向上に向けた取り組み



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 サステナビリティ関連活動

将来的なUACJの価値を高めるための取り組み

「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)

- 自動車部品解体プロセス等の技術実証を開始
- 「ALmitas+ SMARTマスマバランス」認証の調達原料と対象製品群を拡大
- 次世代飲料缶用蓋「EcoEnd™」の量産へ、生産体制の構築を完了
- **NEDO先導研究プログラム採択、低純度スクラップから高純度アルミニウムへのリサイクルの実現へ**
- 日本初となる、再生原料を100%利用した厚板材「ALmitas+ FusPlate SMART」を発売

気候変動への対応

- 「第10回ジャパン・レジリエンス・アワード」で「水の架け橋」が優秀賞受賞

ブランディング活動

- UWHが「ホンダ・ノースアメリカ・サプライヤー・アワード」にQuality/Delivery賞とValue In Excellence賞の2冠
- グループ製品ブランドを「ALmitas+」に統合、社会との共創を促進

多様性と機会均等の浸透

- 第4回パラリンアートコンテストへの支援を継続

将来的なUACJの価値を守るための取り組み

自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)

- CDP2024「気候変動」「水セキュリティ」の両部門でリーダーシップレベル評価「A-」取得

人権の尊重

- 人権デュー・ディリジェンスの実施

人的資本活用と企業価値向上と整理

- 人的資本活用による企業価値向上への影響の体系化に取り組み中

労働安全衛生

- 「健康経営優良法人2025(ホワイト500)」に選定

エンゲージメントの向上

- アルミホイルを活用したワークショップ・ツール「ワークショップの素™」を開発、トライアル販売開始
- **「2024年度経団連推薦社内報審査」で総合賞を受賞**

地域との共生・共創、次世代の育成

- スポーツチームへのスポンサード、協賛活動の積極展開
- 教育支援活動の継続実施

NEDO先導研究プログラム採択、低純度スクラップから高純度アルミニウムへのリサイクルの実現へ

【 1. 高度資源循環システム(アップグレードリサイクル)構築事業 】

- 2021年開始のNEDO助成事業(産学官の協業)へ参画中
- 不純物元素の低減技術、微量不純物を無害化する高度加工技術の開発を、UACJリードで目指す
- 世界初の量産化を目指す「縦型高速双ロール鋳造実験機」をR&Dセンター施設内に9月に設置完了

【目指す未来】

- ✓ 展伸材スクラップを活用した、年間20万トン規模の製造能力拡張
- ✓ アルミスクラップ資源が水平リサイクルで国内循環可能となり、地球環境へ大きく貢献
- ✓ アルミニウムのサプライチェーン上で2050年を目標に1,800万トン規模のCO₂排出量を削減



縦型高速双ロール鋳造実験機(R&Dセンター:名古屋)

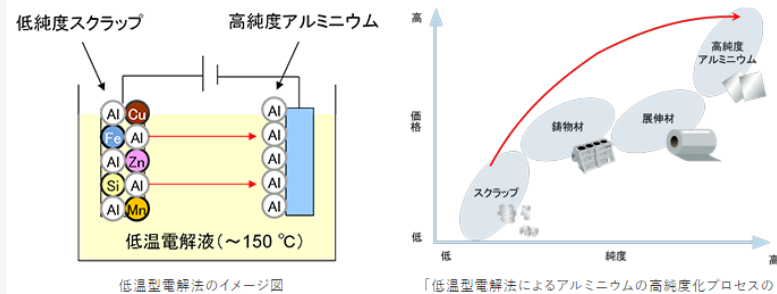
<https://www.uacj.co.jp/release/20240911.htm>

【 2. 低温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセスの研究開発(NEDO先導研究)が採択 】

- これまで廃棄されていた低純度アルミスクラップを、新地金相当の純度以上(99.9%)のアルミニウムへリサイクル可能とする技術(ハイアップグレードリサイクル)を、社会実装するための量産性の検証を産学官で実施(～26年度(最長))

【目指す未来】

- ✓ 廃棄されているアルミニウム資源の再利用(アルミニウム資源の国内循環)
- ✓ 現行の新地金製造方法に比較して、大幅なCO₂排出量の削減



低温型電解法のイメージ図

「低温型電解法によるアルミニウムの高純度化プロセスの研究開発」におけるアップグレードリサイクルのイメージ図

<https://www.uacj.co.jp/release/20240823.htm>

「2024年度 経団連推薦 社内報審査」で総合賞を受賞

グループ広報誌「ALUMINIST」が社内報審査で総合賞を受賞 ～ものづくりの現場を重視する姿勢が高く評価～

「2024年度経団連推薦社内報審査」

- 受賞： 総合賞「ALUMINIST」53号/54号
- 主催： 一般社団法人経団連事業サービス
社内報センター
- 目的： 経営に資する社内広報活動の推進を
目指し、編集者の日頃の活動を評価・
奨励することで、レベルアップを図る
- 審査： 発行目的・編集方針に経営環境や社
会環境、自社・団体の社内広報戦略が
的確に反映され、応募作品がそれをど
れだけ実現できているか



総合賞の表彰状と盾

2017年以来、優秀賞、特別賞、企画賞、総合賞などを
受賞してきており、**2年連続で総合賞以上に選定**
2024年度総合賞は、応募作品112作品の中から**13作品**が選出



受賞した「ALUMINIST」54号 表紙

“中期経営計画を8頁にわたり詳細に紹介しており、
他社にも参考になる紙面構成”と評価された

“UACJグループ”の一員としての一体感を醸成し、組織力・経営基盤の強化を目指す

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

資本収益率の向上と資本コストの低減を継続し、早期にPBR1.0倍以上の実現へ

ROEの向上

23年度 24年度
5.3% **9.9%**

⇒事業利益(434⇒459億円)
⇒最終利益(139⇒280億円)
⇒自己株式取得の実施 等

2025年度以降のアクション

事業利益 600億円(2027年度)
Adjusted EBITDA 1,000億円(2027年度)

- ・ ROIC 9%以上(事業利益ベース)
- ・ D/Eレシオ 1.0倍未満(金融費用の削減 等)

第4次中計目標

ROE

9%以上

エクイティ
スプレッド

さらなる
拡大を目指す

**PBR
1.0倍
以上**

資本コストの低減

23年度 24年度
9% **8%台**
β値*の改善

損益管理の精度向上、
安定的・継続的な利益の計上
⇒信用力向上(格付A格の取得)
⇒当社理解の促進
(積極的なIR活動、情報開示)

β値の改善

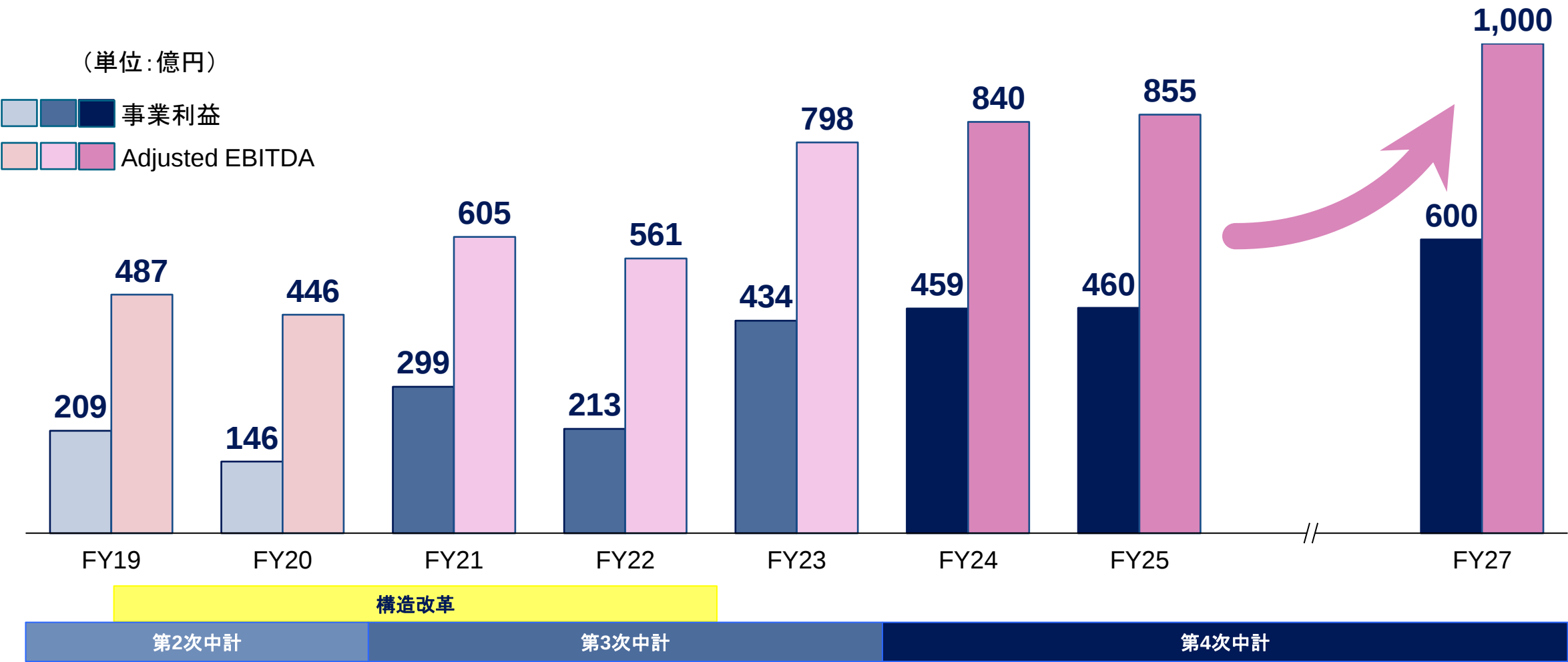
- ・ 継続的な事業成長・企業価値向上
- ・ 積極的な資本市場との対話、
情報開示の強化
- ・ 安定的かつ継続的な株主還元の実施
(配当性向30%以上)
- ・ 信用力の強化(財務体質の強化)

株主資本コスト

7%台

	24年3月末	25年3月末
株価	4,405 円	4,770 円
PBR	0.77	0.76

第4次中期経営計画達成に向けて、順調に進捗。さらなる向上へ



IR-DAY ー第4次中計達成にむけて

日時 2025年5月27日(火) 9:30～12:00

登壇者	代表取締役 社長執行役員	田中 信二
	副社長執行役員 板事業本部長	橋本 圭造
	専務執行役員 TAA CEO 兼 UNA* CEO	Henry Gordinier
	常務執行役員 航空宇宙・防衛材事業本部長	高橋 南
	執行役員 財務本部長	岡田 浩三
	UWH President	Mike Wegener
	UATH 執行役員 バンコク事務所副所長	Teerapun Pimtong

4. ご参考



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

4. ご参考

主要指標推移

	日 本 会 計 基 準				I F R S							(単位:億円)	
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 1Q(単)	2024年度 2Q(単)	2024年度 3Q(単)	2024年度 4Q(単)	2024年度	2025年度(予)		
連結売上高	6,152	5,698	7,829	9,629	8,928	2,476	2,383	2,513	2,616	9,988	10,400		
連結営業利益	101	111	595	172	314	219	138	136	79	572	450		
事業利益	-	-	-	-	434	168	132	118	41	459	460		
棚卸資産影響前 連結経常利益	98	62	213	161	-	-	-	-	-	-	-		
連結経常利益	38	60	523	87	-	-	-	-	-	-	-		
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	△33	321	47	139	147	23	83	27	280	200		
設備投資 一般投資	143	109	129	210	217	35	65	19	69	188	223		
戦略投資	347	72	79	54	114	24	23	77	107	231	322		
合計	489	181	207	264	331	59	88	96	176	419	545		
減価償却費	312	334	340	373	364	94	93	96	98	381	395		
有利子負債残高	3,440	3,358	3,394	3,367	3,109	3,209	3,407	3,570	3,407	3,407	-		
ROE(%)	1.1	△1.8	15.6	1.9	5.3	-	-	-	-	9.9	6.8		
ROIC(%)	1.9	2.2	11.1	3	7.5	-	-	-	-	7.6	7.2		
D/Eレシオ(倍)	1.56	1.56	1.36	1.25	1.0	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	1.0		
営業キャッシュフロー	581	386	78	526	949	△ 41	△ 39	△ 58	229	91	-		
投資キャッシュフロー	△ 300	△ 210	△ 210	△ 269	△ 362	△ 99	△ 100	△ 49	△ 121	△ 369	-		
フリーキャッシュフロー	281	177	△ 132	257	587	△ 140	△ 138	△ 108	108	△ 278	-		
株主資本(日本基準)	1,827	1,775	2,090	2,096	2,105	2,228	2,232	2,258	2,139	-	-		

4. ご参考

海外主要子会社 業績推移

(単位: 億円)

	2023年度						
UATH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	62	65	126	65	65	130	257
売上収益	340	352	692	366	367	734	1,426
営業利益	△ 14	0	△ 13	15	4	18	5
(棚卸資産影響)	△ 14	△ 1	△ 15	4	△ 11	△ 6	△ 21
事業利益	0	1	1	10	14	25	26

TAA	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	98	110	208	103	122	225	433
売上収益	570	648	1,219	595	722	1,317	2,536
営業利益	66	34	101	36	63	99	200
(棚卸資産影響)	△ 7	△ 38	△ 45	△ 24	△ 6	△ 30	△ 75
事業利益	73	73	146	60	69	129	275

UWH	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	105	104	210	100	107	207	417
営業利益	1	2	3	4	4	8	11
(棚卸資産影響)	2	4	6	1	0	1	7
事業利益	△ 1	△ 2	△ 3	3	4	7	4

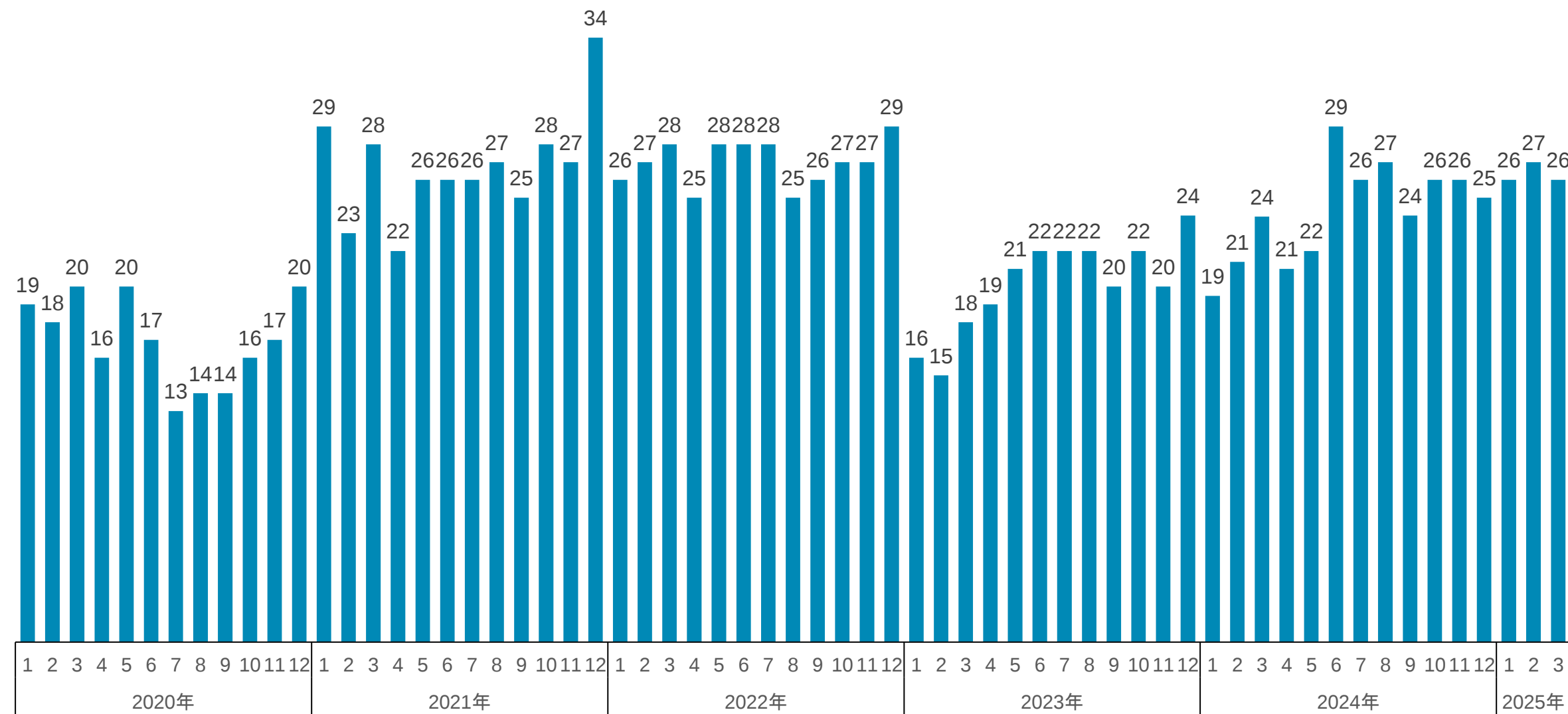
	2024年度							2025年度
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期(予)
	72	77	149	78	79	157	306	336
	453	494	947	521	546	1,067	2,014	2,232
	52	7	59	△ 5	0	△ 5	54	30
	33	△ 4	29	△ 11	2	△ 9	20	△ 11
	19	11	30	6	△ 2	4	34	41

	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期(予)
	109	118	227	106	116	222	449	480
	713	721	1,434	685	798	1,483	2,917	3,070
	107	75	181	73	74	147	328	189
	24	△ 2	22	21	36	57	79	1
	83	77	160	52	37	89	249	188

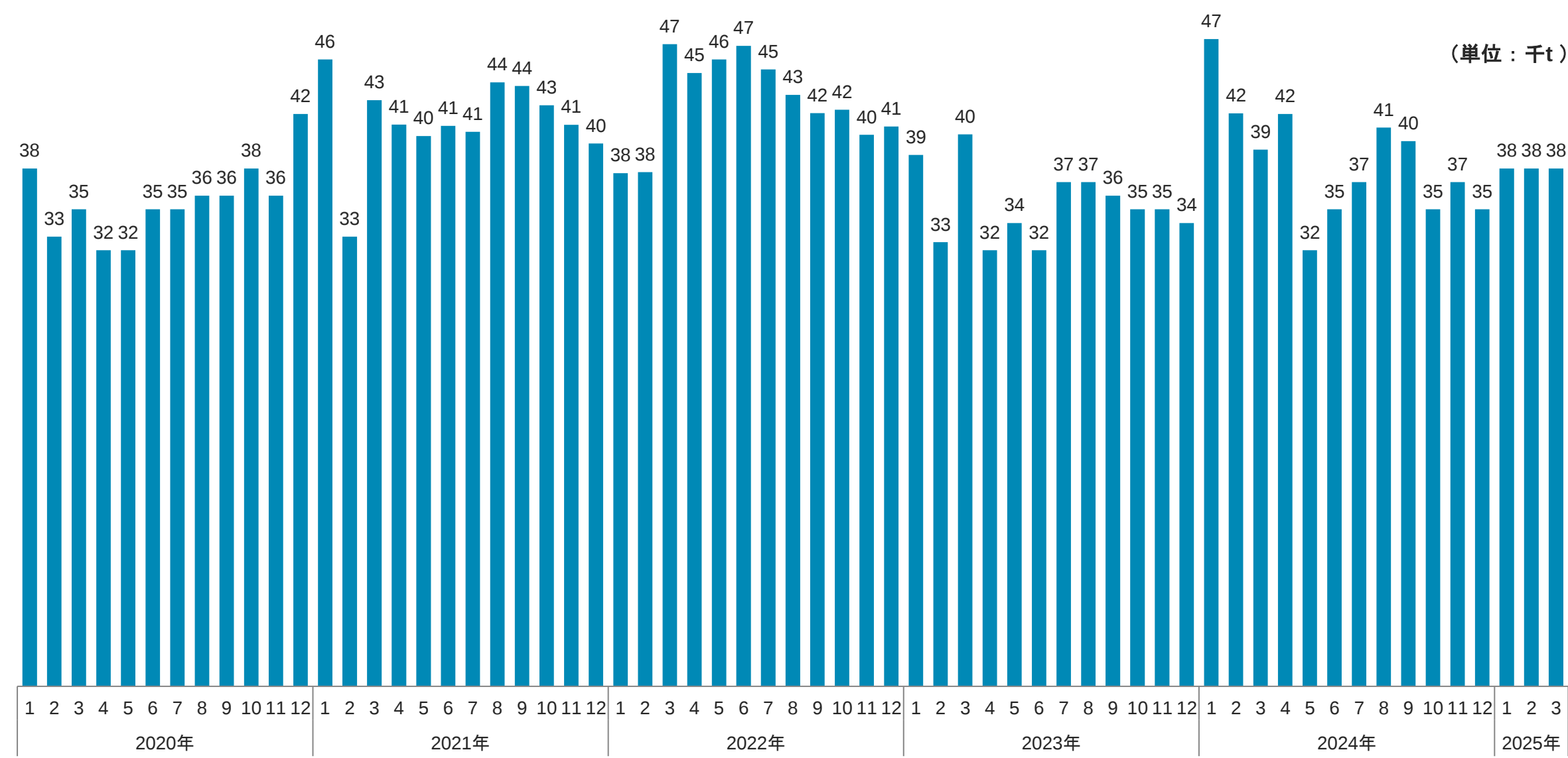
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	通期(予)
	101	93	195	84	96	180	375	388
	4	2	6	△ 2	5	3	9	17
	△ 1	0	△ 2	0	△ 3	△ 3	△ 5	0
	5	3	8	△ 2	8	6	14	17

UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



TAA 月次販売量推移



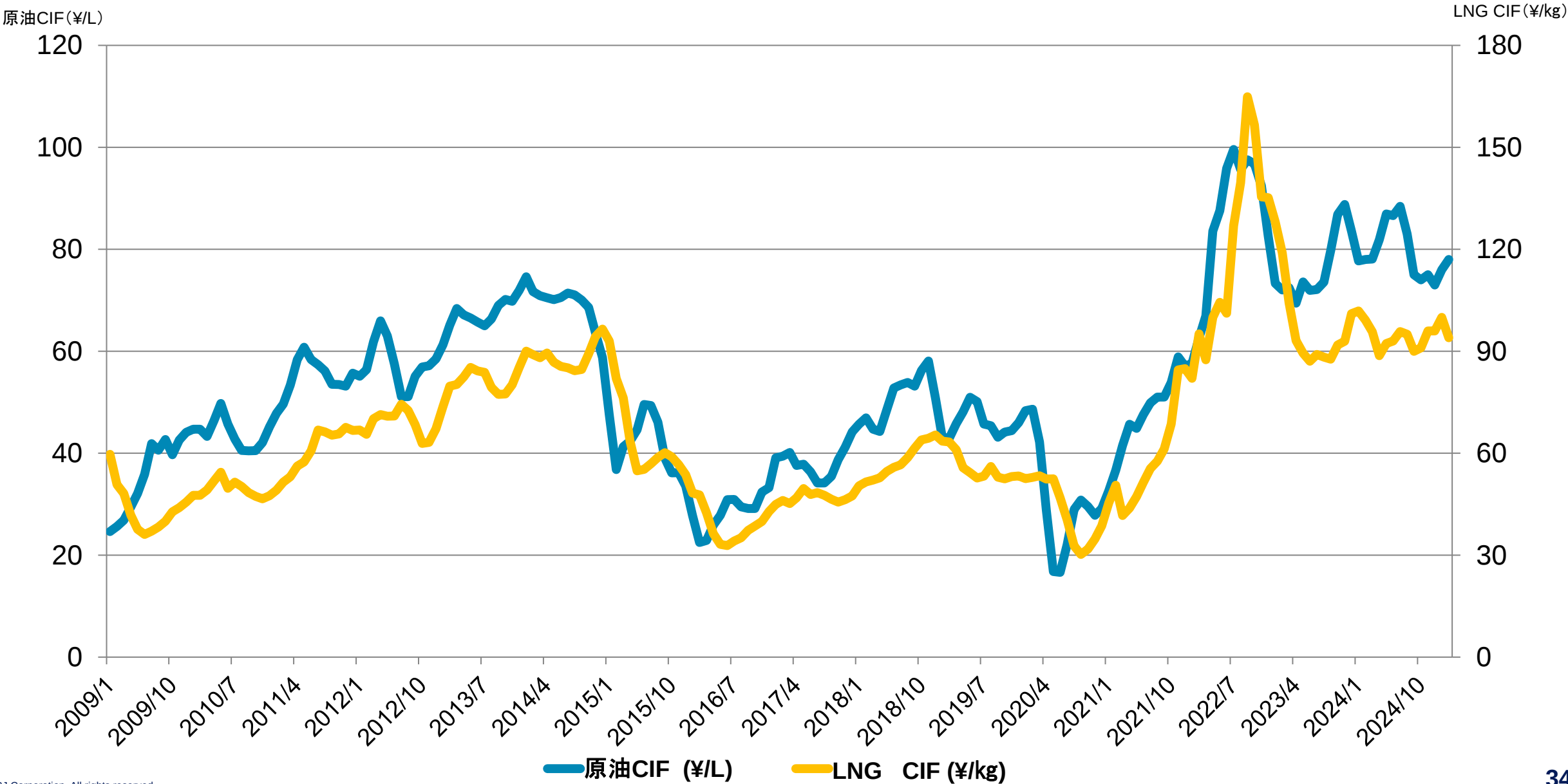
4. ご参考

諸元と感応度

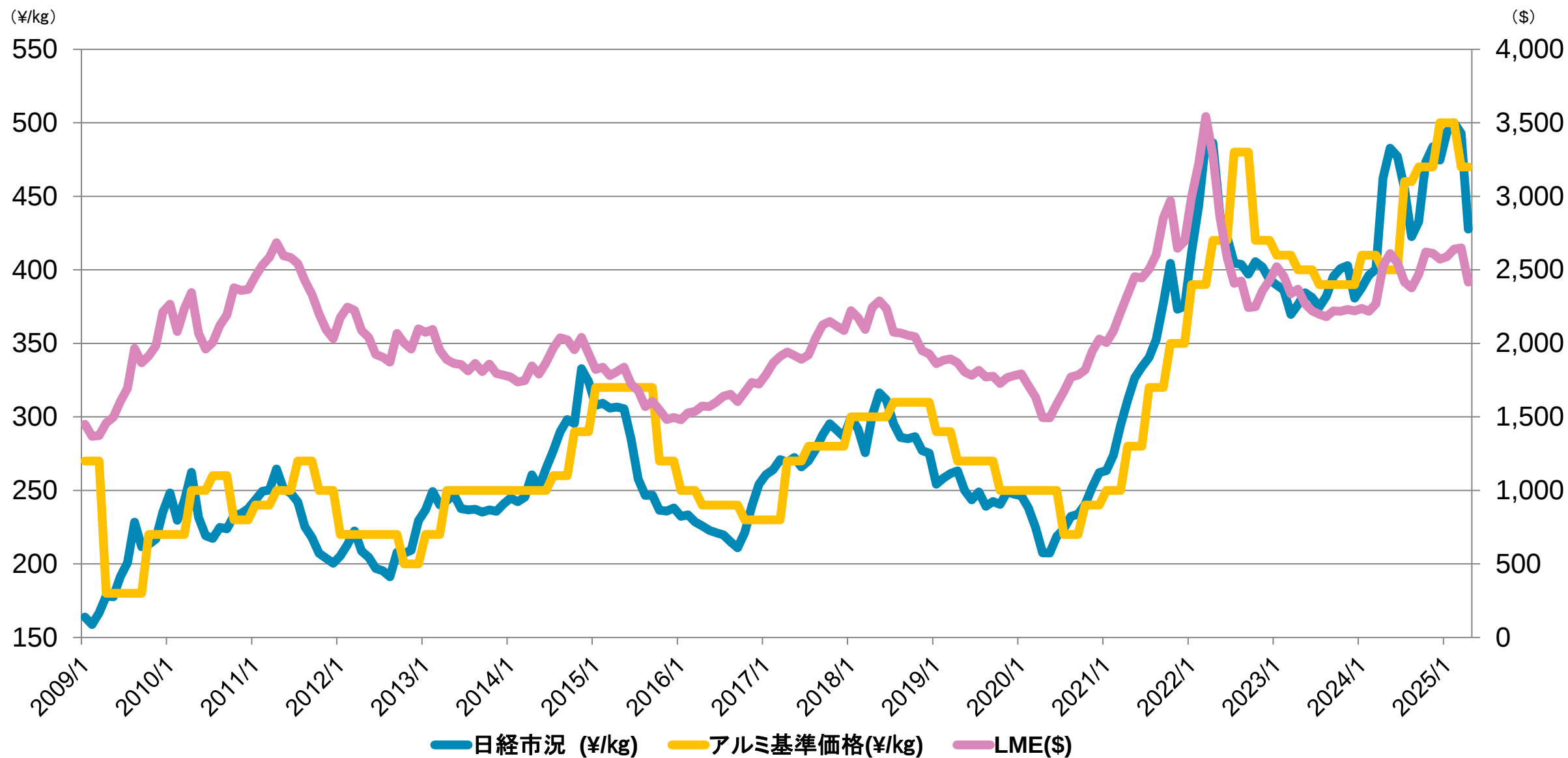
	2023年度 期中平均	2024年度 期中平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,202	2,526	\$100/t上昇した場合 → +22～35億円/年
為替 (円/米\$)	145	153	・燃料単価、添加金属：円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差：円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	4.1	4.4	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.2	34.9	・燃料単価、添加金属：THB高が有利 ・ロールマージン：THB安が有利
原油 (ドバイ：米\$)	82	78	10ドル上昇した場合 → △10～15億円/年

4. ご参考

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。

2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHラヨン製造所で、
ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル”な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

アルミ圧延事業における棚卸資産影響

① 平均法による材料費計算

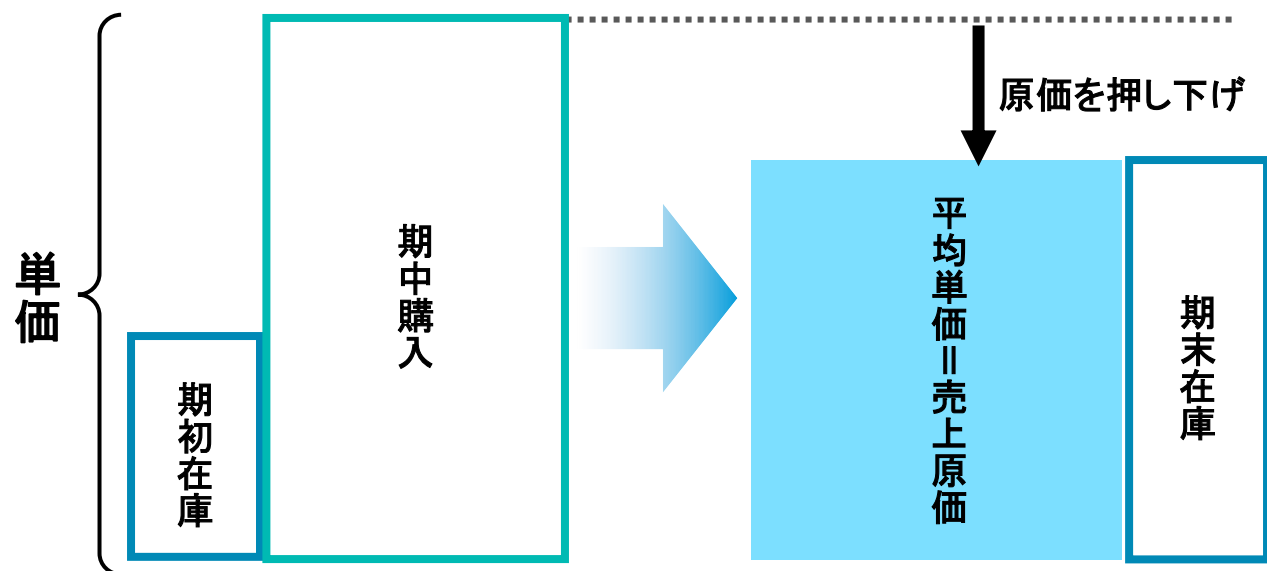
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算（期首在庫が影響）

② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

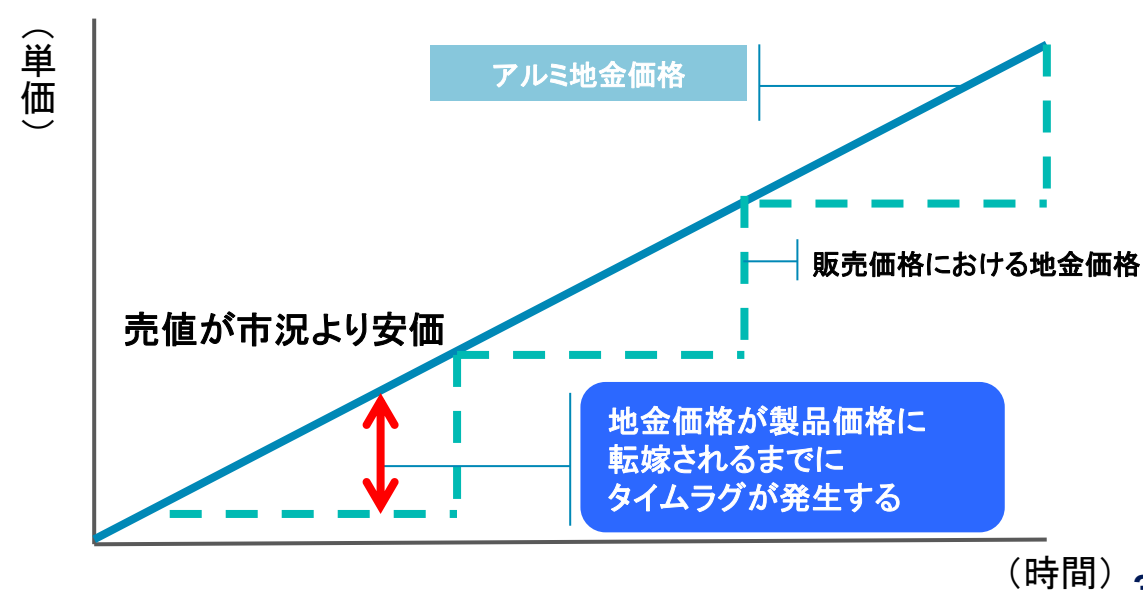
① + ② = 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算



② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



UACJグループが目指す軽やかな世界

UACJグループ理念



行動指針「UACJウェイ」



企業理念(パーパス)

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿(ビジョン)

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観(バリュー)

行動指針「UACJウェイ」

相互の理解と尊重

- 地域社会との交流を大切にし、貢献する。
- 人の多様性を認め、価値観を尊重する。
- オープンなコミュニケーションを実践し、チームと個人の成長を大切にする。
- 「イキイキとした職場づくり」を推進する。

誠実さと未来志向

- 5ゲン主義に基づき行動する。
- 現実に真摯に向き合い、物事の本質を捉えた「誠実なモノづくり」を通じて、ステークホルダー目線の期待に応える。
- 「未来志向」で時代を先取りし、地球環境を守る活動に積極的に取り組む。

好奇心と挑戦心

- 環境の変化に対して常に「好奇心」と「挑戦心」を持ち、社会が必要とする製品とサービスを提供する。
- 社会の将来に向けたオープンイノベーションに対して、創造力を持って取り組む。

企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

